広報 なかわだ

第 399号

2013 年 4月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北１丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141
http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

２０１３年４月７日

４月の予定

教会委員会	14 日（日）
信徒の会例会	21 日（日）
子どもと共に捧げるミサ	28 日（日）

The **Chi Ro** symbolizing the Resurrection, above Roman soldiers

復活したイエス様

主任司祭　小林　陽一

復活祭おめでとうございます。

週の始めの日、イエス様が亡くなられてから２日経った朝、二人のキリストの弟子がエルサレムから１１キロメートル離れたエマオという村を目指して歩いておりました。その日までのエルサレムの都の中と外で起きたキリストの受難の出来事を話し合いながら歩いておりました。すると、見知らぬ男性が二人に近づき、「なんの話をしているのですか」と聞きました。一人が「エルサレムに滞在していながら、エルサレムで起きた大きな出来事をあなたは知らないのですか」と聞くと、「どんな事ですか」とその人は言いました。二人は「私たちが力ある預言者だと思っていた人を、大祭司や議員たちが、死刑にするため引き渡して十字架につけてしまったのです。亡くなったその方を墓に埋葬したのですが、私たちの仲間が墓に行ってみると、その方は見当たりませんでした」と答えました。すると、その見知らぬ男性は、旧約時代の預言者が救い主について言っていたことを細かく話して、「メシアは多くの苦しみを受けて後、栄光に入る筈ではなかったか」と言いました。

やがてエマオ村に近づくと日が暮れてきたので、三人はある宿に泊まることになり、一緒に家の中の食卓につきました。すると、その見知らぬ人は、パンをとり、賛美を捧げて、手で分けて二人に渡されました。その時、二人の弟子は目が開けて、見知らぬその男性がイエス様だと解りました。「あの方が私たちに道で話を聞かせてくれたとき、私たちの心は燃えていたではないか」と二人は話し合い、すぐエルサレムに戻ってみると、１１人の使徒とその仲間が集まっていて、「主はほんとうに復活して、シモン・ペトロに現れた」と話していました。二人は旅の途中で起きた事、そしてパンを手で分けたときイエス様だと気づいた次第を話しました。

キリストの復活の話は、聖書では、復活したキリストと出会った弟子に焦点が当てられているように思われます。パウロが出会ったイエス様は復活したイエス様でした。イエス様に出会う前のパウロは、その頃サウロと呼ばれていました。「私は生粋のヘブライ人です。律法の点ではファリサイ派、熱心さにかけては教会を迫害したほどです」（フィリピ書３：６）とパウロは言っています。そのように言えるほど、サウロは生き方に自信を持っていました。しかし、主がサウロの生き方を変えることとなりました。サウロがキリスト者を捕らえるためにダマスコという町に向かっていた時、天からの光が輝き、サウロを包みました。サウロは地面に倒れました。その時、「サウロ、サウロ、なぜ私を迫害するのか」という声を聞きました。「主よ、あなたはどなたですか」とサウロが尋ねると、「私はお前が迫害しているイエスである。発ってダマスコの町に入れ。お前の為すべき事が告げられるであろう」（使徒行録９：４～６）と言われました。サウロは目が見えなくなっていましたので、人々に手を引かれてダマスコに行き、そこでアナニアという人に目が見えるようにしてもらい、キリスト教の洗礼を受けて信者になりました。

復活したイエス様は、エマオに向かう弟子達のように全く見知らぬ人から話しかけられて、後でその方が復活したイエス様だったのだと解る場合もあります。私たちの身近な所に、復活したイエス様が来ておられ、私たちの話を聞いておられるということに注意いたしましょう。

復活したイエス様は、私たちに自分のしている仕事の意味や尊さに気付かせたいのではないかと思われます。

典礼こよみ（四月）

日	曜	典　礼	ミ　サ	備　考
5	金		初金ミサ (10 時)	掃除
6	土		主日ミサ (18 時)	
7	日	復活節第二主日	主日ミサ (９時)	
8	月	神のお告げ（祭日）	祭日ミサ (10 時)	
13	土		主日ミサ (18 時)	掃除
14	日	復活節第三主日	主日ミサ (９時)	
20	土			掃除
21	日	復活節第四主日	主日ミサ (９時)	
27	土			掃除
28	日	復活節第五主日	子どもとともに捧げるミサ (９時)	聖堂清掃（A,B 地区）

おめでとうございます（復活徹夜祭／洗礼式、そして復活の主日）

受洗の喜び

ご復活徹夜祭の御ミサで、洗礼と堅信のお恵みをいただき、感謝と喜びの気持ちでいっぱいでございます。昨年の１月初めに見えない力に引き寄せられるように、中和田教会に伺いました。そのとき親切に、声をかけ迎え入れてくださった方により小林神父様にお目にかかることができました。その後、聖書のわかちあいのお仲間に入れていただき、小林神父様のお話や信者の皆様の思いと深いお考えをお聞きしながら、今日まで尊い時間を過ごさせていただいております。

思いおこせば、幼いころよりキリストの教えの中で日々祈り、聖歌を歌う、このような学生生活を過ごしましたことが今の私の原点となっていると思います。そして長い時を経る中でキリストを求める気持ちが日々強くなり、このたび主のお導きにより洗礼と堅信のお恵みを授けていただきました。聖霊が注がれている喜びを大切にし感謝の心をもって信仰生活の一歩を踏み出していきたいと思っております。

この度のお恵みをいただくにあたり、小林神父様、聖書のわかちあいの皆様、そして信者の皆様が温かく見守りお祈りくださいました。

そして皆様からお祝いの言葉や寄せ書きなど温かなお心を頂戴いたしましたこと、本当にありがたく思っております。

最後に小林神父様、快く代母をお引き受け下さいました岩崎好愛様に、この度は大変お世話になりましたこと、感謝いたしております。

皆様　どうぞこれからも宜しくお願い申し上げます。

マルガリタ　斎藤ゆかり

３月 30 日　洗礼式＠復活徹夜祭ミサ

３月 31 日　洗礼・堅信証明書授与＠復活主日ミサ

東日本大震災　～２年目の祈り～

２年前のあの東日本大震災の記憶は、決して忘れることのできない記憶、みんなの胸の深い痛みとして永く残る記憶です。そんな思いで、３月１１日には犠牲となられた方となお困難の中にある方々に何らかの形で祈りを届けたいと思っていたとき、原子力発電所の放射能漏れの事故を受けて避難を余儀なくされておられる福島県内の仮設住宅をボランティアで訪問する機会があり、そこで出会った雪の下教会の方からお誘いを受け、３月１１日にその雪の下カトリック教会で行われた、鎌倉の宗教者が宗旨・宗派を超えて集まって行う「追悼・復興合同祈願祭」に参加し、中和田教会の４人のお仲間を含めた皆様と共に祈ることができました。

鎌倉八幡宮（神道)、鎌倉市仏教会（仏教)、鎌倉市キリスト教諸教会が一堂に集まり、午前中は各宗派による祈りのリレー、午後２時からは合同の式典が執り行われました。私は午後の部だけの参加でしたが、訪れた沢山の人々で、やっと脇の立ち席にて参列することができました。

２時丁度に、十字架を先頭に各宗派の入堂が始まりました。司祭・牧師に続いて袈裟をまとった僧侶、白装束の神官らが行列をつくり、普段の聖堂の有様とはまた違った厳粛さを感じました。式典はキリスト教の主導で行われ、み言葉の朗読、祈りのあと、２時４６分には市内の各所で鐘が鳴り響き、１分間の黙祷が捧げられました。

一般参加の私たちはそのあと焼香をさせていただき、そのまま会場からは出なければなりませんでしたが、黙祷と焼香をとおして、沢山の方々と共に祈りを捧げることができました。日本各地で２時４６分に一斉に捧げられた鎮魂と復興への祈りは、天に向かってこだましつつ、亡くなられた方々や被災された方々に届けられたことと思います。

（岩崎好愛）

ー　日本語教室よりお知らせ　ー

＊日曜日ミサ後に新集会室か２階和室にて日本語教室を開いています。自由に日本語で話し合ったり、「広報 (こうほう) なかわだ」のふりがな版を読んだりします。どうぞ一度体験してみてください。４月は７日と２８日を予定しています。

＊また日本語教室を一緒に担当してくださる方も募集しています。外国に繋がる方ともっとお友達になりたい方お声をかけてください。

（日本語教室担当　今井、岩崎）

アンパンマンとキリスト教

皆さまは、アンパンマンというキャラクタを必ずどこかで目にされていると思いますし、またアンパンマンマーチという曲を、どこかで耳にされていると思います。

小生は、孫娘たちの成長過程を見ているうちに、このアンパンマンに強く関心をもつようになりました。

アンパンマンは、子どもたち、とくに５歳以下の幼児に圧倒的に支持されていて、殆どの病院の待合室に本が置いてあるようです。どんなに泣き叫んでいる子どもも、これを見た途端にニコニコになるという、　....

「このアンパンマンとは、いったい何者なのか？」

ということが関心の的になったのです。

いくつか絵本を読んでいくと、何となく、物語の背景に、キリストの教えに近いメッセージ性を感じたので、グーグル検索で、『アンパンマンとキリスト教』と打ち込むと、何とヒット数が２５万件あり、多くの人たちが同じような関心を持っていることがわかりました。

ここでは、いくつかの文献（後述の参考文献参照）から浮かび上がってくる「アンパンマンの力（ちから）」に関するいくつかのポイントを、少々主観 (?) を交えながら、ご紹介したいと思います。

●簡単に言うと、アンパンマンは、いつも悪者をやっつける、カッコいい“スーパーマン型”のヒーローではなく、どちらか言うと“寄り添い型”のヒーローです。お腹が空いている人には、自分の頭（つまりアンパン）を切り取ってあげるというタイプです。　これをマンガにすると、見方によってはたいへんグロテスクに映るので、当初は出版社から難色を示されたそうですが、読者の子どもたちからの強い支持により、今日に至っています。自分を犠牲にしてパンを分かち合うという物語の流れは、「キリストのからだ」を象徴するパンに繋がっているように感じます。

● 3.11 東日本大震災の翌々日から、被災地でＮＨＫラジオ番組「つながるラジオ」や多くの民放局から、アンパンマンマーチが流れ、それを聴いた多くの被災地の方々は、大人も子どもも涙を流して感動したとのことです。アンパンマンは、日本テレビの番組なのですが、放送権を超えて、多くの放送メディアがアンパンマンマーチを放送したことは素晴らしいことですし、まさにこの歌が元気と勇気を与える歌であることの証左だと思います。

●アンパンマンには、バイキンマンのような悪役を含めて、いろいろなキャラクタが登場して、毎回騒動が起きますが、最後には平和に収まる筋書きです。そして、物語を通して、子どもたちが自然に、共同体のなかで“支え合って”生きていくことの素晴らしさが示されているように感じます。

●作者のやなせたかし氏は、1919 年生まれで当年９４歳、出征して南方の島で死線を越えて来た方です。また、氏の弟は、特攻隊員として戦死されており、「争いの愚かさ、空しさ」を訴える氏の叫びが、この作品の根底に流れています。後述の小論文によれば、氏は聖公会の信者さんとのことです。

まだ善悪も生き方も何も教えられていない、生まれたばかりの幼い子どもたちが、このアンパンマンに目を輝かせるのは、もしかしたら、

・私たち大人が忘れ去ってしまった、神様から授かった大切な感性を持っているためで、

・同じ「目」を持っていても、幼い子どもと大人では、違う世界を見ているのかも知れない、

とも感じられ、マタイの聖福音にある「幼な子のように」という根幹の教えが、改めて思い起こされます。

最後に、アンパンマンマーチの歌詞をご紹介します。

「**あなたは、かけがえのない人なのですよ**」というメッセージが背景にあることをお感じ頂けると思います。

（小野　雅彦）

参考文献

・多くのネット文献の中でも、次の小論文は秀逸です
http://www.tatsuru.com/php/phpBB3/viewtopic.php?f=19&t=103#p103
（神戸女学院の学生さんの小論文「アンパンマンを背景から探る」）

・中村圭子編「やなせたかしーメルヘンの魔術師 90 年の軌跡」河出書房新社

アンパンマンマーチ
（作詞）やなせたかし
（作曲）三木　たかし

そうだ！嬉しいんだ
生きる喜び
たとえ胸の傷が痛んでも
何の為に生まれて
何をして生きるのか
答えられないなんて
そんなのは嫌だ！
今を生きることで
熱いこころ燃える
だから君は行くんだ
微笑んで。
そうだ！嬉しいんだ
生きる喜び
たとえ胸の傷が痛んでも。
ああアンパンマン
優しい君は
行け！皆の夢守る為
何が君の幸せ
何をして喜ぶ
解らないまま終わる
そんなのは嫌だ！
忘れないで夢を
こぼさないで涙
だから君は飛ぶんだ
何処までも
そうだ！恐れないで
みんなの為に
愛と勇気だけが友達さ
ああアンパンマン
優しい君は
行け！皆の夢守る為

・・・・

委員会だより

（文中敬称略）

〈3月10日（日）12名出席〉

■神父様の話

・司祭召命の集いが5月5日に藤沢教会で開催される。申込みは主任司祭まで（締切4月23日）

・2014年度横浜教区神学生志願者申込み案内がきている。案内一読後4月1日までに該当者は主任司祭に申し出ること。

・パウロ田邊敏彦助祭（末吉町教会出身）の司祭叙階式が、5月6日に山手司教座聖堂にて行なわれる。

・人事異動：①ハー・ミン・トゥ師⇒山手助任　②マイ・タム師⇒雪ノ下助任、（初ミサをお願いしたが、都合つかず不可）　③ティエン師⇒コロンバン会本部

・斉藤ゆかりさんの受洗は3月31日の聖土曜日（復活徹夜祭）に行なわれる。　お祈りをお願いする

・消防設備点検を3月12日に実施する

・4月28日の午後に、中和田聖堂で「横浜地区聖歌の集い」の練習が行われる。

・6月2日に、大宮陸洋君　大葭原力君が初聖体を受ける。お祈り下さい。

■報告事項

●4月スケジュールの確認（岩渕）

・子どもミサは28日

・聖堂清掃は、AB担当で28日のミサ後

・バザーに向けて例年通り「奉仕の日」を設けるので協力願いたい(小野(和))

●3月度月修資料（上野）：詳細略

■各グループからの報告

●典礼（大宮）

・聖週間の予定確認：奉仕者は掲示板に貼り出したので、各自確認して欲しい

・聖木曜日の祭壇準備（お花の配置等々）の確認（小野（和））
⇒昨年に準じる（大宮（智））

●財務（甲斐）

・一般会計　特記事項（支出）として、修繕費（屋根修理、2Fトイレ）、消耗品（パソコン）

●宣教（石井（洋））

・第5地区運動会　5月19日於湘南白百合小学校

・サマーキャンプ　8月23日～25日　星美ホーム山中林間寮
⇒参加費用の補助を検討するので、参加者が決まったら教えて欲しい（委員長&財務委員からの提案）
湘南キリスト教セミナー講師はSr.山本（援助修道会）に決定、日取り調整中

●要理（石崎）

・復活祝賀会は、子どもたちも歌で参加する

●営繕・建物（福島）

・実施済み⇒洗濯機買換え

・実施予定⇒事務所蛍光灯交換、聖堂大掃除、消防設備点検

・実施検討⇒台所ガスレンジの買換え（ふきこぼれ等危険な状態）

●福祉（中島）

・ここ1ヶ月の活動は、高齢司祭の支援金を届けたこと等々

・財務から提起された課題については、別途、財務⇔福祉で打合せる。

・寄付の宛先に社会福祉協議会を加えて欲しい。地域に貢献することも重要（甲斐）

●行事（小野（和）、森田）

・本年度行事代表は小野（和）

・復活主日祝賀会の予算は2万円でよいか　⇒信徒大会で議論した予算内で問題ない（甲斐）

・連絡網で流すか　⇒【結論】行事マターも含めて「聖週間の全体計画」として、委員長から流す。

●総務（岩渕）

・新規の連絡網システムの準備を進めているが、電話連絡希望が17名あり。審議の結果、この電話連絡は次の手順で行なう：
①委員長が総務委員に連絡　⇒②総務委員がメール化して当該教会委員に連絡　⇒③当該教会委員は各々2名に電話連絡する

●広報（小野（雅））　報告事項なし

・愛の献金の運営状況を、（「委員会だより」の中に記述するのに加えて）より目立つ形に掲載した方がよいのでは?
⇒【結論】今後は発生の都度、広報に『財務からのお知らせ』として、特記する

●信徒の会（岩渕）

・3月の例会は赦しの秘跡と重なるためにお休みとし、4月は『パソコン講習会』を開催する。　是非ご参加下さい。

■討議報告事項（上野）

●森脇さんからの提案：シスター片岡（ヌヴェール愛徳修道院）の講演会
⇒【結論】教会委員会として、お願いすることに決定

●月定献金を頂く方法

・いろいろな意見が出たが、継続審議

●震災対策について

・中心となる人を選んで、当面の備蓄（備蓄品目、備蓄場所）などについて、検討作業が必要
⇒【結論】委員長要請に基づき、男性委員全員と女性委員（福祉、行事、要理の各々グループ内で交替で対応）がこの任にあたる

次回委員会　4月14日（日）

以上

編集後記

2011年復活徹夜祭で洗礼を授かって以来3度目の復活祭を迎えます。私にとって受洗は結婚より大きな人生の転換点であったように思います。

このような気持ちを実感するようになったことの一つに去年1月から広報委員という大役を仰せつかったことがあります。当初は私のような教会のことを何も知らない者が委員を務める資格があるのだろうかと困惑しましたが、最近は印刷を終えた時にそれまでの苦労が吹き飛び、喜びを感じられるようにまでなってきているのです。

新参者であることが反って功を奏してか委員会に出席する時や原稿をお願いする度に多くの方々に教えられ、助けられたことは幸運でした。特にインタビューに応じてくださった方々からは貴重な体験や信仰への思いを聞かせて頂いたことで、聞き手である私が受けた感動と共感を教会の内外を問わず多くの方々にお届けすることができたのではないかと思っています。

今年の復活祭では改めて受洗のお恵みを頂いたことで3年前には考えられなかった今の私があることの喜びをかみしめたいと思います。また中和田教会共同体の全ての皆様に感謝を申し上げると共に今後も「広報なかわだ」のため、皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

（今井暁子）

教会からのお知らせ

■転出

ヨゼフ　宮崎佐喜男さん
マリア　ヒトミさん
3月18日付で、千葉県東金教会へ転出されました

（総務グループ）